

製品名: VAMP2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82986**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、サル、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	12.7kDa

抗原情報

遺伝子名	VAMP2
別名	SYB2; VAMP-2; NEDHAHM
遺伝子 ID	6844.0
SwissProt ID	P63027
免疫原	大腸菌で発現したヒト VAMP2 (AA: 2-89aa) の精製された組み換え断片。

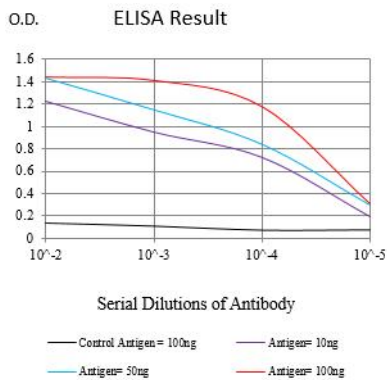
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、小胞関連膜タンパク質 (VAMP) /シナプトブレビンファミリーのメンバーです。シナプトブレビン/VAMP、シンタキシン、および 25kD シナプトソーム関連タンパク質 SNAP25 は、シナプス小胞とシナプス前膜の

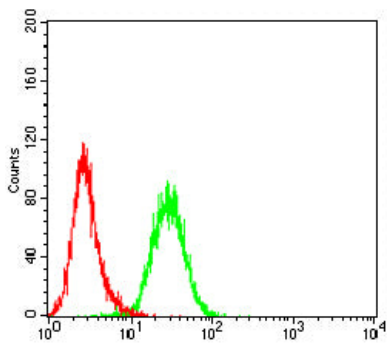
ドッキングおよび/または融合に関するタンパク質複合体の主要構成要素です。この遺伝子は、ドッキングと融合の間の段階で神経伝達物質の放出に関与すると考えられています。このタンパク質は、シンタキシン、25kD シナプトソーム関連タンパク質、およびシナプトタグミンと安定な複合体を形成します。また、シナプトフィジンとは明確な複合体を形成します。この遺伝子は、その遺伝子マップ上の位置と、FIMG の病因に関与すると考えられているタイプのシナプス小胞タンパク質をコードしていることから、家族性乳児筋無力症 (FIMG) の有力な候補遺伝子です。

研究分野

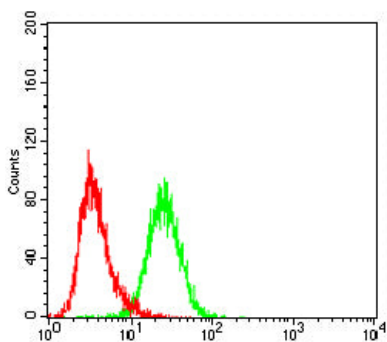
画像データ



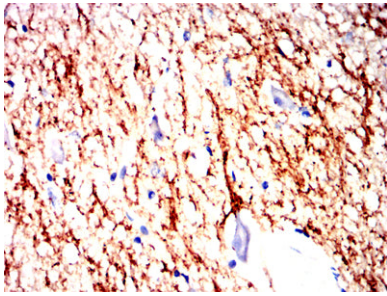
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



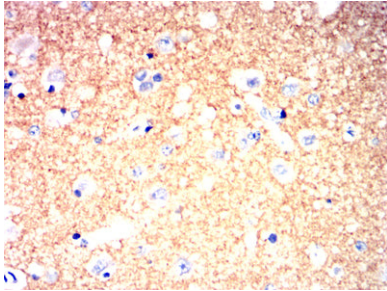
VAMP2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



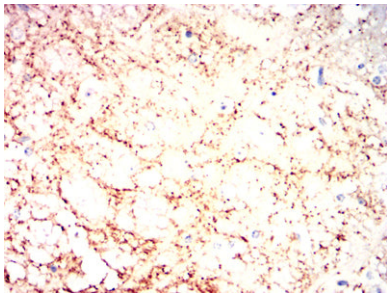
VAMP2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



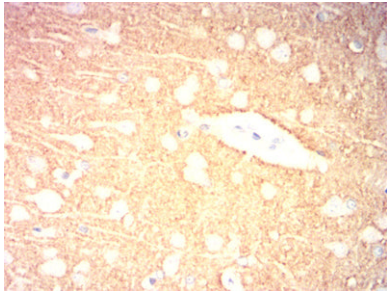
VAMP2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト延髄組織の免疫組織化学分析。



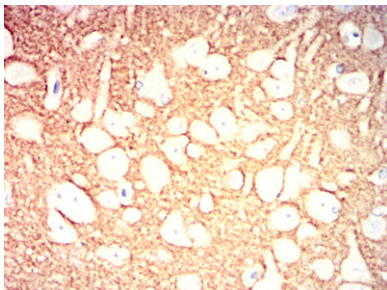
VAMP2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。



VAMP2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス小脳組織の免疫組織化学分析。



VAMP2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。



VAMP2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ脳組織の免疫組織化学分析。